

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174600551		
法人名	株式会社 しらかば		
事業所名	グループホームたんぼぼ(あい)		
所在地	帯広市東5条南14丁目1番地1		
自己評価作成日	平成22年6月30日	評価結果市町村受理日	平成22年12月13日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0174600551&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0174600551&amp;SCD=320</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年12月1日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・理念のもと、能力を活かした自立した生活を大切に援助します
- ・出来る事は職員と共にし、家庭的な雰囲気のもと楽しくゆっくりに生活できるよう支援します
- ・地域の行事に参加したり、保育所や幼稚園の子供達と触れ合う機会を作っている
- ・10月末に入居者と農家に行き大根を掘り、毎年200本くらいの大根をベランダで干し沢庵やニン漬など漬けている 6年くらい続いている
- ・月1回の自由献立を実施

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設当初よりスプリンクラー、火災通報装置等の防火設備が完備している鉄筋コンクリート造り2階建て2階部分の2ユニットのグループホームです。地域とのかかわりでは、近隣の幼稚園や保育園園児の訪問や運動会等の行事見物で相互訪問が行われていたり、夏祭りを開催して地域住民や地元の子供達も参加して交流を深めるなど取り組みが実践されています。また、家族が参加する紅葉見物や食事会、おやつバイキングを実施して、本人と家族の絆を大切にしている。利用者も職員と一緒に、農園で大根の収穫や野菜の収穫を楽しみ、にしん漬や醤油漬、たくあん等の漬物づくりで本人と共に過ごし支えあう関係を築いています。さらに、身体機能の維持・向上の為に毎日の歩行訓練や口腔ケアに取り組んでいます。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)		項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します	
項目		取り組みの成果 該当するものに 印	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>理念に基づく運営</b>						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を作成し事務所、リビングの見える位置に表示し、それに基づいた介護計画を提示している 理念を実施できるように願い、ホーム内に5つの想い、7つの誓いも提示し、また常に携帯し職員間で共有している	事業所独自の理念をつくりあげ、その実践の為に5つの想い、7つの誓いを立てて、内部研修や職員会議を通じて話し合い、理念を共有している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し総会や春と秋の清掃、夏のレクリエーション親睦会に参加したり、ホームの夏まつりに町内会、運営推進委員会が来訪され交流を深めている 保育所や幼稚園の運動会に参加したり、園児達がお遊戯を披露するなど交流をしている	日常的な散歩や買い物、地元のボランティアの受け入れや交流、近隣の幼稚園や保育園園児の訪問や運動会等の行事見物で相互訪問が行われていたり、夏祭りを開催して地域住民や地元の子ども達が参加して交流を深めるなど取り組みが実践されている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	春と秋の町内清掃や行事の手伝いに参加する			
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとの運営推進会議を開催し、利用者、家族、町内会役員、地域包括支援センター職員、ボランティアの方に参加していただき、意見を頂きながらサービスの向上に活かしている	運営推進会議は、定期的実施され、地域包括支援センターの役割や認知症の理解を得るための具体的な話し合いが行われている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会以外の交流は特に取り組んでいない	市担当者や包括支援センターの連携の重要性については、理解している。また、日常業務を通じて情報交換を行うなど連携を深めるように努めている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠をせず、ドアの開閉時にブザーを使用し、利用者の見守りを行っている 身体拘束の勉強会に参加している	身体拘束廃止委員会や高齢者虐待防止の内部研修会を開催し、管理者及び職員の認識の共有が行われている。また、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに努めている。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議やミーティング、委員会などで情報を共有し虐待防止に努めている 虐待防止の勉強会や研修にも積極的に参加し虐待に対し職員それぞれが最善の注意を払って防止に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人をたてている方は現在は居ないが、入居者の持っている力を活かし日々の生活が生き生き暮らせるよう支援している			
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結には十分な説明を行い、利用者の状態により家族と相談するなど理解、納得して頂ける様努めている			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族来訪時には今現在の入居者の状況を報告したり、ホームの夏祭りや月1回実施の自由献立など実施、御家族にも参加して頂き 交流時に意見を頂ける様働きかけている	外出行事や食事会等日常的に家族と交流する機会を設けている。また、家族や来訪者等が管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるように苦情等の受付箱を設置している。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議、毎日2回のミーティングで意見を聞いたり、会議以外でも日々のコミュニケーションを図り意見を活かせるようにしている	職員アンケートを実施して、職員の意見や要望等聞く機会を設けている。また、職員一人ひとりの個別面談を実施している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	新年会や勤続表彰など行っている リーダー、サブ、委員会など役割を持つことで責任を持って仕事ができる 職員一人一人の面接の機会を設け意見を聞き入れている 人事考課を導入し、向上心、目標を持って働けるよう促している 年に1回～2回職員にアンケートを実施、職員の心が少し見える			
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や電話の対応などの社内研修を行っており、そのほかの研修にも積極的に参加するよう働きかけ知識や技術の向上に向けて支援している 費用の掛かるものは一部会社負担もある			
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会主催で相互研修に参加している 特養での職員研修も実施されている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前に実調を行いご本人からも十分話を聞く機会も作っている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族から面会時に十分話を聞く機会を作り常に話しやすい雰囲気づくりに努め会話の中から不安な事求めている事など聞き内容によっては主治医の意見も聞きながら信頼関係を深めるよう努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状況、状態、家族の思いなどを把握し、どのような支援が必要なのか見極め必要としているサービスが提供できるよう努めている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に利用者本位を念頭に置き職員が一方的に決定しないよう心かけている コミュニケーションを多く取れるよう努め、料理方法や味付け、昔の歌を歌うなど些細な事でも利用者と一緒に作業を行いながら共同生活を意識している		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム内の行事や夏まつり等ご家族にも参加して頂き絆を大切にしている 季節の衣替えについて家族に相談したり利用者の日々の様子を伝えながら一緒に支えていく関係を築いている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設での生活に順応する事に重点を置いているが家族には今まで通り状態に合わせた面会を増やしていただいたり、お墓参りや近くのスーパーでの買い物などに出かけている 教え子や友だちが気軽に訪問できる雰囲気作りに努めている	知人の訪問や墓参り、スーパーでの買い物等で馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う同士で会話したり、意思疎通が困難な入居者には職員が間に入ることで入居者の関係が深まるよう支援している 食事の準備や洗濯物を干したり届けるなど利用者間で行える事はなるべく意識して声掛けするようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	気軽に遊びに来てもらえるよう働きかけている			
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の生活歴や環境を把握し日々の生活の中で一人ひとりの思いや希望をくみ取り職員間で情報を共有し検討している	アセスメントを実施し、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。また、職員間で情報の共有が行われている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者の生活歴やサービス計画などの資料をいつでも閲覧できる場所に保管している ご本人、ご家族の会話からこれまでの暮らしの把握に努め本人にとって一番慣れた生活環境にできるよう努めている			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	活動やお手伝いなど出来ること、出来ない事、している事など関わりの中から把握し生活記録や連絡帳に残すなど職員同志情報共有に努めている			
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護支援専門員の管理のもと職員全員でケアの方法について職員会議やミーティングで話している 利用者の状態変化について期間終了前であってもその都度現状に即した介護計画の見直しを行っている	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族の要望や医師、看護師の意見を反映するよう努めている。また、カンファレンス、モニタリングを通じて介護計画に職員の意見を反映している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の会話の中から得られる情報はとても多いので、それらを十分に活用しながら行動、体調など、個々の状態変化を記録行い気づきや変化を確認することで職員間の情報を共有し介護計画に活かしている			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況に応じて時間外の入浴など柔軟に支援していくよう努めている			
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物や町内の行事への参加などで本人が持っている能力を活かせる場をつくり支援している			
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望に沿った医療機関の受診（基本的には家族対応による） または納得のもと、協力病院への変更をしてもらいホームで対応。 内科、歯科は往診対応。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、医師・看護師との連携で適切な医療を受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に2回看護師が非常勤として来ており毎日の心身の状況の報告もし相談、指示をもらうなど連携を取っている			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際、入所中の様子を細かく報告したり入院期間の情報を頂いて退院後のケアに繋げDr、看護師と情報交換し相談し早期退院に向けた話し合いなどしている			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者、ご家族から重度化した場合の意向確認をしている ホームでは医療との協力体制を図り、方針を共有確認し対応している 特養等の申し込みについてもお話している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族の意向を踏まえ、医師、看護師、職員が連携をとり、事業所ができることを十分に説明しながら看取りの方針を職員間で共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の緊急対応マニュアルを作成し、研修などにも参加するなどそれに基づいて対応できるよう努めている			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施 全職員が身につくよう訓練を続けている 地域の協力体制は運営推進会議にて日常見守り手伝いをしていただけると助かるなど呼びかけている	開設当初よりスプリンクラー、火災通報装置等の設置をしている。また、年2回避難訓練を実施し、設備の定期点検も行われている。	緊急時に備えた保存食が常備されています。今後は、緊急時の一時避難場所等の再検討をしているので職員間で周知することを期待します。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の人格を尊重しトイレ誘導など、プライバシーを損ねないよう対応している	身体拘束廃止委員会、高齢者虐待防止の内部研修を通じて、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを尊重し散歩買い物、日常の過ごし方の希望を取り入れるよう支援している 自己決定の難しい方への本人の思いをくみ取ったケアを意識して対応している			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい暮らしを目指しているが職員の都合を優先してしまう傾向にあるので本人のペースを大切にその日の体調等に合わせた支援、入居者の習慣や思いを優先し日々のケアに努めている			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節、気候に合わせた服装など気をつけるよう努めている 理美容は月1回の出張サービスを利用しているが、希望があれば希望の店にいけるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎月、食べたい物のリクエストを聞き自由献立として楽しく美味しく食べていただいている 食事の準備や後片付けなど利用者の方と一緒にやっている	家族と一緒に食事会をしたり、本人と職員が一緒になって野菜を収穫して漬物をつけている。また、食事の準備や後片付け等している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録を通して確保できるよう支援している 栄養士の管理のもとカロリー計算をしている			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け、介助をしている 就寝前は入れ歯を洗浄剤につけて清潔保持をしている			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者の様子を観察しながら排泄表をつけパターンやタイミング等を把握し状況に合わせて不快にならないよう時間ごとに声掛け誘導する 声掛け見守りでオムツにならないよう更に失敗やオムツの使用量を減らしていけるよう支援している	排泄表で排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養士管理のもと植物繊維を取り入れた食事の提供を行い運動や散歩、水分補給など配慮しながら支援している			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ホームで決めた日に入浴して頂いているが、その時の状況に合わせて本人の希望も取り入れ入浴日や時間帯を変えるなど清潔保持に努めている	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて支援している。また、本人の希望に応じて曜日や時間等対応し、支援している。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は家事や洗濯ものたたみ等の日課や散歩をして活動的に過ごされている 穏やかに安心して過せるよう声掛けし疲労の程度に応じリビングや自室で休めるよう支援している			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を必ず服用して頂くよう職員が管理、服薬確認の介助を行っている 状態の変化に伴い、かかりつけ医に相談している			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の出来る範囲の役割を考え、食事の準備や洗濯たたみなど手伝って頂いたり楽しみある生活になるようカラオケ、散歩、ドライブ、外食、行事など計画し外に出る事で気分転換ができるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	全員ではないが、毎週買い物に行ったり体調や天候に合わせて近所を散歩するなどしている。入居者全員が外出できるよう花見、七夕見学、紅葉ドライブ、地域の方の協力もあり町内会の行事や親睦会にも参加している	日常的な散歩や馴染みのスーパーでの買い物、イチゴ狩りや紅葉見物、家族と一緒に弁当持参で公園散歩や農園での大根の収穫等家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭を自己管理している方もおり、職員が付き添い自ら支払いができるよう支援し買い物する楽しみを持てるようにしている。個人で管理できない方は御家族よりお金を預かりホームで管理をしている			
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族、友人との繋がりを大切に訴えに対応し自由に電話を掛けられるよう支援している。暑中見舞いなど季節の便りを出している			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月の担当者が利用者と共に季節ごとに製作したものをホーム内に飾ったり玄関やリビングに花を置いて季節感を出したり居心地良く過せるよう支援している。日差しがまぶしい時はカーテンを閉めたり不快な音も窓を閉めたり根源を突き止め対応するよう努めている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、季節毎の職員と利用者の手作りの飾りつけや紅葉見物や野菜の収穫等の写真の掲示など利用者が居心地良く過ごせるよう工夫している。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングソファにそれぞれの定位置があったり、居室前ベンチで気の合ったもの同士が話をされている。また一人になりたい時は居室で過ごす時間を大切にしている			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、御家族、本人が自由に使うので使い慣れたものや好みのものを持参している。また、花の鉢を置いたり家族の写真やアルバムもいつでも見ていただけるよう配慮し心地良く過ごせる工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、行事参加の写真や家族のアルバム、使い慣れた家具や寝具が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱や失敗の元になるものに対し分かりやすく表記するなど配慮している。出来ない事を無理強いない。本人が不安げな時は必ず一緒に行うようにしている			



### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174600551		
法人名	株式会社 しらかば		
事業所名	グループホームたんぼぼ(ゆめ)		
所在地	帯広市東5条南14丁目1番地1		
自己評価作成日	平成22年6月30日	評価結果市町村受理日	平成22年12月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・理念のもと、能力を活かした自立した生活を大切に援助します
- ・出来る事は職員と共にし、家庭的な雰囲気のもと楽しくゆっくり生活できるよう支援します
- ・地域の行事に参加したり、保育所や幼稚園の子供達と触れ合う機会を作っている
- ・10月末に入居者と農家に行き大根を掘り、毎年200本くらいの大根をベランダで干し沢庵やニン漬など漬けている 6年くらい続いている
- ・月1回の自由献立を実施

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0174600551&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0174600551&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年12月1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を作成し事務所、リビングの見える位置に表示し、それに基づいた介護計画を提示している 理念を実施できるように願い、ホーム内に5つの想い、7つの誓いも提示し、また常に携帯し職員間で共有している		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し総会や春と秋の清掃、夏のレクリエーション親睦会に参加したり、ホームの夏まつりに町内会、運営推進委員会が来訪され交流を深めている 保育所や幼稚園の運動会に参加したり、園児達がお遊戯を披露するなど交流をしている		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	春と秋の町内清掃や行事の手伝いに参加する		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとの運営推進会議を開催し、利用者、家族、町内会役員、地域包括支援センター職員、ボランティアの方に参加していただき、意見を頂きながらサービスの向上に活かしている		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会以外の交流は特に取り組んでいない		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠をせず、ドアの開閉時にブザーを使用し、利用者の見守りを行っている 身体拘束の勉強会に参加している		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議やミーティング、委員会などで情報を共有し虐待防止に努めている 虐待防止の勉強会や研修にも積極的に参加し虐待に対し職員それぞれが最善の注意を払って防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人をたてている方は現在は居ないが、入居者の持っている力を活かし日々の生活が生き生き暮らせるよう支援している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結には十分な説明を行い、利用者の状態により家族と相談するなど理解、納得して頂ける様努めている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族来訪時には今現在の入居者の状況を報告したり、ホームの夏祭りや月1回実施の自由献立など実施、御家族にも参加して頂き 交流時に意見を頂ける様働きかけている		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議、毎日2回のミーティングで意見を聞いたり、会議以外でも日々のコミュニケーションを図り意見を活かせるようにしている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	新年会や勤続表彰など行っている リーダー、サブ、委員会など役割を持つことで責任を持って仕事ができる 職員一人一人の面接の機会を設け意見を聞き入れている 人事考課を導入し、向上心、目標を持って働けるよう促している 年に1回～2回職員にアンケートを実施、職員の心が少し見える		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や電話の対応などの社内研修を行っており、そのほかの研修にも積極的に参加するよう働きかけ知識や技術の向上に向けて支援している 費用の掛かるものは一部会社負担もある		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会主催で相互研修に参加している 特養での職員研修も実施されている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前に実調を行いご本人からも十分話を聞く機会も作っている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族から面会時に十分話を聞く機会を作り常に話しやすい雰囲気づくりに努め会話の中から不安な事求めている事など聞き内容によっては主治医の意見も聞きながら信頼関係を深めるよう努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状況、状態、家族の思いなどを把握し、どのような支援が必要なのか見極め必要としているサービスが提供できるよう努めている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に利用者本位を念頭に置き職員が一方的に決定しないよう心かけている コミュニケーションを多く取れるよう努め、料理方法や味付け、昔の歌を歌うなど些細な事でも利用者と一緒に作業を行いながら共同生活を意識している		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム内の行事や夏まつり等ご家族にも参加して頂き絆を大切にしている 季節の衣替えについて家族に相談したり利用者の日々の様子を伝えながら一緒に支えていく関係を築いている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設での生活に順応する事に重点を置いているが家族には今まで通り状態に合わせた面会を増やしていただいたり、お墓参りや近くのスーパーでの買い物などに出かけている 教え子や友だちが気軽に訪問できる雰囲気作りに努めている		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う同士で会話したり、意思疎通が困難な入居者には職員が間に入ることで入居者の関係が深まるよう支援している 食事の準備や洗濯物を干したり届けるなど利用者間で行える事はなるべく意識して声掛けするようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	気軽に遊びに来てもらえるよう働きかけている		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の生活歴や環境を把握し日々の生活の中で一人ひとりの思いや希望をくみ取り職員間で情報を共有し検討している		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者の生活歴やサービス計画などの資料をいつでも閲覧できる場所に保管している ご本人、ご家族の会話からこれまでの暮らしの把握に努め本人にとって一番慣れた生活環境にできるよう努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	活動やお手伝いなど出来ること、出来ない事、している事など関わりの中から把握し生活記録や連絡帳に残すなど職員同志情報共有に努めている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護支援専門員の管理のもと職員全員でケアの方法について職員会議やミーティングで話している 利用者の状態変化について期間終了前であってもその都度現状に即した介護計画の見直しを行っている		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の会話の中から得られる情報はとても多いので、それらを十分に活用しながら行動、体調など、個々の状態変化を記録し気付きや変化を確認することで職員間の情報を共有し介護計画に活かしている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況に応じて時間外の入浴など柔軟に支援していくよう努めている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物や町内の行事への参加などで本人が持っている能力を活かせる場をつくり支援している		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望に沿った医療機関の受診（基本的には家族対応による） または納得のもと、協力病院への変更をしてもらいホームで対応する 内科、歯科は往診対応		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に2回看護師が非常勤として来ており毎日の心身の状況の報告もし相談、指示をもらうなど連携を取っている			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際、入所中の様子を細かく報告したり入院期間の情報を頂いて退院後のケアに繋げDr、看護師と情報交換し相談し早期退院に向けた話し合いなどしている			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者、ご家族から重度化した場合の意向確認をしている ホームでは医療との協力体制を図り、方針を共有確認し対応している 特養等の申し込みについてもお話している			
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の緊急対応マニュアルを作成し、研修などにも参加するなどそれに基づいて対応できるよう努めている			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施 全職員が身につくよう訓練を続けている 地域の協力体制は運営推進会議にて日常見守り手伝いをしていただけると助かるなど呼びかけている			
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の人格を尊重しトイレ誘導など、プライバシーを損ねないよう対応している			
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを尊重し散歩買い物、日常の過ごし方の希望を取り入れるよう支援している 自己決定の難しい方への本人の思いをくみ取ったケアを意識して対応している			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい暮らしを目指しているが職員の都合を優先してしまう傾向にあるので本人のペースを大切にその日の体調等に合わせた支援、入居者の習慣や思いを優先し日々のケアに努めている			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節、気候に合わせた服装など気をつけるよう努めている 理美容は月1回の出張サービスを利用しているが、希望があれば希望の店にいけるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎月、食べたい物のリクエストを聞き自由献立として楽しく美味しく食べていただいている 食事の準備や後片付けなど利用者の方と一緒にしている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録を通して確保できるよう支援している 栄養士の管理のもとカロリー計算をしている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け、介助をしている 就寝前は入れ歯を洗浄剤につけて清潔保持をしている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者の様子を観察しながら排泄表をつけパターンやタイミング等を把握し状況に合わせて不快にならないよう時間ごとに声掛け誘導する 声掛け見守りでオムツにならないよう更に失敗やオムツの使用量を減らしていけるよう支援している		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養士管理のもと植物繊維を取り入れた食事の提供を行い運動や散歩、水分補給など配慮しながら支援している		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ホームで決めた日に入浴して頂いているが、その時の状況に合わせて本人の希望も取り入れ入浴日や時間帯を変えるなど清潔保持に努めている		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は家事や洗濯ものたたみ等の日課や散歩をして活動的に過ごされている 穏やかに安心して過せるよう声掛けし疲労の程度に応じリビングや自室で休めるよう支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を必ず服用して頂くよう職員が管理、服薬確認の介助を行っている 状態の変化に伴い、かかりつけ医に相談している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の出来る範囲の役割を考え、食事の準備や洗濯たたみなど手伝って頂いたり楽しみある生活になるようカラオケ、散歩、ドライブ、外食、行事など計画し外に出る事で気分転換ができるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	全員ではないが、毎週買い物に行ったり体調や天候に合わせて近所を散歩するなどしている。入居者全員が外出できるよう花見、七夕見学、紅葉ドライブ、地域の方の協力もあり町内会の行事や親睦会にも参加している		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭を自己管理している方もおり、職員が付き添い自ら支払いができるよう支援し買い物する楽しみを持てるようにしている。個人で管理できない方は御家族よりお金を預かりホームで管理をしている		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族、友人との繋がりを大切に訴えに対応し自由に電話を掛けられるよう支援している。暑中見舞いなど季節の便りを出している		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月の担当者が利用者と共に季節ごとに製作したものをホーム内に飾ったり玄関やリビングに花を置いて季節感を出したり居心地良く過せるよう支援している。日差しがまぶしい時はカーテンを閉めたり不快な音も窓を閉めたり根源を突き止め対応するよう努めている		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングソファにそれぞれの定位置があったり、居室前ベンチで気の合ったもの同士が話をされている。また一人になりたい時は居室で過ごす時間を大切にしている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、御家族、本人が自由に使うので使い慣れたものや好みのものを持参している。また、花の鉢を置いたり家族の写真やアルバムもいつでも見ていただけるよう配慮し心地良く過ごせる工夫をしている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱や失敗の元になるものに対し分かりやすく表記するなど配慮している。出来ない事を無理強いせず、本人が不安げな時は必ず一緒に行うようにしている		



### 目標達成計画

#### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	札幌のグループホームの火災を受けて、いつでも起こりうる火災に気をつけていく為に訓練を繰り返し行い反省し改善していく	緊急時の連絡網の周知。 夜間を想定した避難訓練の実施。	年2回の防災訓練を職員全員で取り組む	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。